



設備を紹介する佐野社長（右）＝四日市市日永西の四日市事務機センターで

【四日市】オフィス関連機器の販売や保守点検などを手がける四日市事務機センター（四日市市日永西、佐野智成社長）で十九日、経営者向けの会社見学会「カメレオンオフィスツアー」が開催され、県内の事業者二社の代表者らが参加した。見学会は令和二年八月から定期的に開催しており、参加者のニーズに合わせた個別の見学プランを実施。これまで県内外から計四百社以上が参加している。今回は「会社が変われば未来が変わる」と題し、佐

野社長がIT化の推進による業務効率の改善や、スマートフォンアプリを用いた同社独自の福利厚生システムなどを紹介した。その後は、創意工夫を凝らしたオフィスを表彰する「中部ニューオフィス奨励賞」を昨年九月に受賞した同社オフィスを、佐野社長が案内。カフェやオープンスペース、先端機器を用いたWEB会議システムなど、全国の企業百五十社のノウハウを集約した社内を見学した。

見学会に参加した松輝製網（川越町当新田）の松岡弘高社長は「画期的な取り組みや設備を見学し刺激を受けた。今後どのように取り入れていくかを考えた」と感想を話した。四日市事務機センターでは、今後も会社見学会の参加者を募集している。問い合わせは同社ホームページ http://www.yj-c.o.jp/office_tour/、または電話059(346)5411で受け付ける。

【亀山】亀山署生活安全課の永井玉彦係長ら署員五人は二十日、亀山市本町一丁目の県立亀山高校で、「自転車盗難防止対策啓発活動」を実施した。同市防犯協会員一人と同校生徒会役員十人が協力した。全校では生徒六百三十一人のうち、約四百人が自転車通学をしている。啓発活動は、自転車に備え付けの鍵とワイヤ錠を掛け、ツーロックにする習慣を身に付けることで、盗難防止の意

識を高めるのがこの日は、同た三百七十五人を、自転車通学一人に一個手渡し自宅では、必ずで、自分の大切な

事務機センターの取り組み学ぶ 四日市で経営者向け会社見学会



そのほか、八人で規定の技を取り入れた「チームテクニカルルーティン」、ソロ、デュエット、チームの演技を組み合わせた「フリーコンビネーション」で優勝、八人の自由演技「チームフリー」で準優勝を決めた。来庁した島田選手は「三

5種類のメダルを獲得し、笑顔を見せる島田選手（蔵城洋子）

自転車、ツーロックを 亀山高校で盗難防止啓発



◇四日市市で
えた同窓生の作
27日午前9時

お知らせ
まち